

2050年までをシミュレーションし、創造する。

2022度までのテーマ「次世代の横浜・神奈川地域像を素描する」においては、2030年代半ばから2050年まで頃を想定して、「バックキャスト」手法により、目指すべき将来ビジョンを明確にしつつ、現在起こすべきアクションを考えることを行なった。

今年度のテーマは、昨年度に引き続き「2050年までをシミュレーションし、創造する。」をテーマとする。2050年を「鮮やかに創造」できるようになるよう、「客観的な分析を通じたシミュレーション力」と「学際的な視点や知識を融合した創造力」を養うことを目標として、各講義とグループワークを実施する。

●グループワーク

2050年は具体的にどのような状況になりそうなのか、対象地域を選定し、資料、データ、現地調査、ヒアリング調査等により客観的に分析し2050年までの状況をシミュレーションする。分析・シミュレーションを踏まえて、どのような方法で課題を克服していけば、どのような状態になれるかビジョンを提示する。

●講義曜日・時間：月曜日4限 14:40-16:10/講義場所：建築棟8F 南北スタジオ/講義形式:対面（一部遠隔）

回	日程	講義テーマ	講師	授業形式
1	10月7日	オリエンテーション：地域創造論 / 副専攻プログラムについて / 履修者からの自己紹介	志村真紀（地域実践教育研究センター）	対面
2	10月14日 (祝日開講)	「ゼロからの『資本論』」を読んで (ディスカッション形式 ※課題図書あり)	志村真紀+池島祥文（国際社会科学研究院）	対面
3	10月21日	ポートランドに学ぶ地球本位のこれからの都市づくり	山崎満広（客員教授）	対面
4	10月28日	リパブルな都市づくりに向けて（ディスカッション形式） *10/17,18の世界銀行による講演イベントの聴講(1セッション以上の聴講を事前学習として宿題にします。講演概要・聴講申請先→ https://x.gd/70Pci)	三木はる香（世界銀行 東京開発ラーニングセンター） +山崎満広（客員教授）	対面
5	11月11日	北欧における福祉・地域経済・産業	遠藤聡（環境情報研究院）	対面
6	11月18日	都市のプランニング・メソドロジー ～シナリオ・プランニング～	矢吹剣一 (都市イノベーション研究院)	対面
7	11月25日	グループワーク1：グループ結成	志村真紀・矢吹剣一	対面
8	12月2日	グループワーク2：シナリオ・プランニングの実施		対面
9	12月9日	グループワーク3：対象地設置・ロジックモデル仮策定		対面
10	12月16日	グループワーク4：客観的なデータの収集・調査・分析		対面
11	12月23日	グループワーク5：【中間発表会】	志村真紀・山崎満広・矢吹剣一	(希望によっては遠隔)
12	1月6日	グループワーク6：ロジックモデルの策定	志村真紀・矢吹剣一	
13	1月20日	グループワーク7：政策・事業スキームの検討		
14	1月27日	グループワーク8：プレゼンテーションに向けて		
15	2月3日	【最終発表会】	志村真紀・山崎満広・矢吹剣一	対面

*2月中旬：地域連携シンポジウム 第2部にて発表

※10/14の講義の課題図書：授業日までに書籍を読んで、LMS上に感想を提出してください。

・ゼロからの「資本論」：斉藤幸平,NHK出版新書,2023(税込1030円)
(中央図書館に1冊収蔵。地域実践センターワーキング室に1冊有り。)